



みなみ

南小の校訓：ほんきに なかよく がんばる



石岡市立南小学校
学校だより No.10
発行日 2023.9.1
文責 校長(山口)

落ち着いた再開となりました

記録的な暑さの夏休みを経て、久しぶりに登校した児童は一回り成長し、とても落ち着いた雰囲気です。夏休み期間は、大きな事故や事件の情報はありませんでした。高学年の児童は、自分で考えて実施した課題等を持参し、沢山の成果が提出されました。これも保護者の皆様のおかげと感謝しております。

まだまだ残暑が続くようです。児童の健康状態に留意しながら、学校生活への順応と、運動会に向けた練習などに取り組んで参ります。しばらくの間、暑さ対策や健康面で支えていただきながらの学校生活となります。今後とも、保護者の皆様方には、児童の生活習慣が規則正しいものであるよう、支えていただければ幸いです。



工夫とアイデアいっぱいの提出物



9月中の2年2組担任 坂元先生

夏休み明け集会での校長の話を、以下に掲載します。

夏休みが開けて、皆さんの元気な姿が見られて、とても嬉しいです。

今日は久々の登校で、荷物も多くて、学校に来るだけでも大変でしたね。もし、具合が悪い人がいれば、担任の先生に相談してください。

今年の夏、インターハイサッカーで明秀日立が優勝したり、甲子園で土浦日大がベスト四となったりと茨城勢の活躍を、ワクワクする思いで応援しました。またバスケットボールワールドカップでは熱戦が続き、感動した人もいるでしょう。

人の真剣な姿だけでなく、毎日の何気ない行動に、人の心は影響を受けるものです。朝、校長先生は、校門で君たちの登校を見守っています。南小の皆さんは、目を見て、きちんと聞こえる声で、あいさつができる児童がたくさんいると思います。しかし、地域の見守りの方や保護者の方からは、あいさつがさびしいな・・・という声も聞こえてきます。

ある町の小学六年生が起こした本当の話です。その小学校は、駅前商店街を抜けて、大都市に電車を通う人が多く住む町です。町に縁の無い人が多く住み人同士の触れ合いが少なく、ちょっとしたトラブルも多くて、商店街の評判も良くない町でした。ある日、六年生の一部児童が、通勤で駅に向かう人々に、あいさつやハイタッチを始めました。はじめの頃は、迷惑そうにしていた人々も、小学生たちの爽やかな姿に、あいさつで答えるようになりました。6年生の一部が始めたあいさつが、全校に広がり、中学生にも広がり、商店街の人にも広がり、あいさつにあふれる活気のある場所に変わったのです。商店街と通勤客との間につながりが生まれ、人々のトラブルが減って、あまり人気の無かったその町は、今は住みたい町ランキングの上位に変わったといわれています。

人の行動は他の人にも影響を与えます。学校は皆さんが色々なことを学ぶ場です。今日から再開する学校が、お互いにいい影響を与え合える場所になるよう、心がけていきましょう。

今月の三十日には、運動会があります。皆さんの頑張りを、多くの皆さんに観ていただき、良い気持ちになってもらえるよう、取り組んでいきたいですね。